

FP-Dry G2 モデルの改善ポイント

	従来モデル	新モデル(G2)
仕上がり温度の精度向上	仕上がり温度：20～30℃	目標温度±1.5℃ (240ml)
仕上がり温度の選択		◎20℃仕上がり／ノーマル解凍 ◎30℃仕上がり／しっかり加温
解凍検出の安定度向上		変形した製剤で溶け残る場合があった問題を解消しました
製剤揉みアクションの休止時間	6分休止	1分休止 ※長期にわたる検証試験の結果、 設定値1分で破損しないことを確認しました
製剤をあとから追加	いったん停止して再スタート (FP-2000)	左右のロットで各々スタート
始業前点検の補助機能 ^{*1}		<input checked="" type="checkbox"/> ヒーターパネル温度表示 解凍中のヒーター温度をリアルタイム表示 <input checked="" type="checkbox"/> ヒーター温度確認モード 空運転でヒーターを加温 温度が安定したら音でお知らせ 表面温度計で計測し確認できます
解凍終了音 ^{*1}	アラーム音	◎アラーム音 ◎チャイム音 ◎メロディ 1 (Goldberg variations) ◎メロディ 2 (Berceuse)
オプション対応 ^{*1}		<input checked="" type="checkbox"/> ワイヤレス子機 離れた場所でも解凍終了を受信できます
言語表記 ^{*1}		◎日本語 (カタカナ) ◎ENGLISH 表示言語が選べるようになりました

(*1) 病院様からのご要望にお応えして実装した機能です